ninoyu satoshi
発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人:二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字:栢木寛照

えとす

平成30年 No.310 12月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

出入国管理法案、7日未明に成立
正しい形での外国人受け入れを

憲法改正案今国会で審議できず

48日間の臨時国会が終わった。今国会は13の法律、3つの条約が成立した。平成30年度補正予算案、養殖業への企業参入を促す漁業法の改正案、自治体が運営する水道事業に民間企業も参入出来る水道法改正案などが含まれているが、中でも外国人労働者の受け入れを拡大する出入国管理法の改正案の審議が今国会の大きな争点となった。衆参両院では野党の厳しい追及があった。12月7日、参議院法務委員会での採決の後、参議院本会議場に於いて、与野党の激しいやり取りが展開された。野党は法務委員長、農水委員長の解任決議案、法務大臣、総理大臣の問責決議案を提出するなど執拗な抵抗を試みた。そのため、入国管理法案が可決成立したのは、8日明け方の4時10分頃であった。さすがに多くの議員は疲れ果てた表情であった。なお安倍首相が、臨時国会前に意気込んでいた憲法改正案は、今国会に於いても憲法審査会で審議出来ずに終わった。

8日明け方、入国管理法案の投票に臨む

恒心

★文化庁の京都移転も順調に進んでいるようである。今は京都市東山区の元上下水道局営業所跡に仮住まいであるが、再来年には本格的な移転先である京都府警本部が改装になり、そこで国会対応、関係府省庁との連絡調整等以外の業務を行う。★文化庁移転は、オール京都の力で、運動を展開し、実現した。戦後中央省庁が移転したのは、これが初めてのことである。京都府、京都市、経済界、文化関係者の力の結集が、実を結んだと言ってよい。★それだけに、運動に関わった人、団体の責任は非常に重い。とりわけ、京都府、京都市、経済界のトップは、京都に文化庁が移転してよかったと、中央省庁の関係者に評価されるように努力をしてもらいたいし、責任もある。★先日、自民党の予算・税制等に関する政策懇談会で、各文化団体と意見交換をする会合が行われた。文化芸術団体の関係者が、京都に文化庁が移転して、日本の文化行政機能が、劣化するのではないかと心配しているとの発言があった。★京都の人間として、京都を馬鹿にした発言だと気を悪くした。反面、東京からのそんな声をしっかりと受け止めて、それは東京人の取り越し苦労に過ぎないと、京都人は意地を見せて、オール京都で頑張らなければならないと思った。★来年9月、京都で「世界博物館会議」が開催される。3年に1度開催されるが、世界の最高の芸術文化人の集まりと言っていい。京都の良さを知って貰う絶好の機会であり、京都で開催して良かったという印象を与える必要がある。★開催都市では、参加者が期間中、都市の公共交通機関を利用できる無料乗車券を提供し、参加者に昼食会を催す事が恒例となっているようである。この費用を誰が負担するのか。さて、どうするのか。オール京都の力が試されている。

二之湯武史議員質問に立つ

11月26日、参議院予算委員会で、二之湯武史議員が自民党を代表して質問に立った。今国会で議論が集中した出入国管理法改正案や18年度第2次補正予算案、そして選挙区 滋賀県高島市での迫撃砲弾着弾事故に関して総理および関係閣僚へ質問した。また、日産 ゴーン会長逮捕を取り上げ、現在の資本主義が抱える問題について質問した。質疑の要旨は次の通りである。

◎**二之湯**：第2次補正予算の国土強靱化に関するビジョンを御説明下さい。

◎**安倍内閣総理大臣**：今夏の災害を経験し、例えば砂防ダムや河川改修をしっかりとやっておけば、もっと早めに予算を付けておけばよかったじゃないかという声も随分あった。そういう後悔のないよう、やるべきことをやって国民の命と幸せな暮らしを守り抜いていきたい。同時に、景気を下支えするためにも補正予算を確かなものとしていきたい。

質問に立つ二之湯武史議員

◎**二之湯**：TPP11、日・EU・EPAの影響で外国製品が安く入ってくることへの懸念に対してどのような対策を進めるのか、消費増税の対策も含めてご教示いただきたい。

◎**安倍内閣総理大臣**：今回の補正予算において、TPP協定の早期発効に対応するための農林水産業の強化策等、中小企業・小規模事業者の支援、その他喫緊の課題に対応していくこととしている。

◎**二之湯**：外国人労働者問題を単に人手不足という側面だけで議論すべきではなく、専門性を持った外国人たちが活躍する多文化共生社会は革新的で創造性に富んだ社会であるという面も強調すべきである。この点で通称クールジャパン人材を積極的に進めたいと考えているがいかがか。

◎**山下法務大臣**：本年6月に閣議決定された骨太の方針にも、クールジャパン関連産業の海外展開等を目的とする外国人材の受入れを一層推進する方策を検討するとされており、関係府省庁と連携して必要な検討を行って参りたい。

◎**二之湯**：11月14日に滋賀県高島市の陸上自衛隊饗庭野演習場で、訓練中に迫撃砲弾の破片が演習場外の一般車両に直撃し、車両が破損する事故があった。3年前も同演習場で事故があったにも関わらず教訓がいかされなかったが、事故発生時の連絡体制や危機管理体制について今後どのように取り組んでいかれるのか。

◎**岩屋防衛大臣**：今後こういう事案が発生した場合は直ちに訓練を中止し、第一報をまず関係自治体にお知らせするようにという指示を出した。事故の再発を防ぐと共に、地元自治体の通報も含め速やかに見直しを行って参りたい。

◎**二之湯**：昨今報道等々で取り上げられている日産の問題を踏まえ、上場企業に対するガバナンスの仕組み等をどのようにお考えか。

◎**麻生財務大臣**：金融庁としては、経営陣の監督などの機能を発揮させることを形式的ではなく実働的、実効的なものに出来るよう、引き続き取り組んで参る。

◎**二之湯**：株主資本主義ともいうべき経営理念が世界中に広まり、労働分配率が低下していく一方で、経営者報酬や株主配当が増加したことによって雇用や家計が不安定化しているという現実があり、保護主義的なポピュリズムが台頭すると考えている。このような構造についてどのようにお考えか。

◎**安倍内閣総理大臣**：今、企業は過去最高の収益を上げているが、こうした収益を着実に賃上げに繋げて未来への投資を大胆に行い、成長と分配の好循環をしっかりと回していくモデルを日本でつくり上げる。そして世界にあるべき市場主義、資本主義の在り方を示していきたい。

◎**二之湯**：総理がおっしゃった動きを発信していく政策立案をして参りたい。

二ノ湯氏第32次地方制度調査会委員に 2040問題を議論

地方自治のあるべき方向を議論する内閣府の審議会に「地方制度調査会」がある。この調査会は内閣総理大臣の諮問機関である。地方自治法の改正には総理から調査会への諮問があり、調査会委員が慎重に審議して、総理大臣に答申する。非常に権威のある調査会の一つであり、地方自治に関心の深い議員が一度はなってみたい調査会である。地方6団体の長は、自動的に調査会の委員に就任する。二ノ湯議員は、平成11年～13年の2年間、全国市議会議長会会長の時に、第26次調査会委員を務めた。参議院議員に当選してから、この委員になりたい気持ちを持っていたが、自らを売り込むことはなかった。先日、参議院自民党から、地方制度調査会委員就任の打診があり、二ノ湯議員は躊躇なく承諾した。今回の第32次調査会では、高齢化がピークを迎え、人手不足も深刻化するとされる「2040問題」と地方自治体のあり方が検討される。

地方制度調査会で発言する二ノ湯委員

第8回日中議員会議2月北京で開催
二ノ湯参議院議員 日本側団長に

日本と中国との議員間交流を強化することによって、相互理解と信頼を増進し、両国間の協力を拡大することを目的に、第1回日中議員会議が平成19年3月に、東京で始まった。毎年1回、相互に交代する。今年2月には、第7回会議が東京で行われ、二ノ湯参議院議員も日本側の代表の1人として、参加した。その際、二ノ湯議員は、観光及び人的交流の重要性について発言した。来年は中国側で開催することになっているが、このほど全国人民代表大会から年明けの2月ごろに、北京で行いたいと参議院に連絡があった。参議院では、日中会議に参加する参議院代表団の人選を進めているが、団長には二ノ湯智議員が務めることが内定した。議員団は超党派10名で構成される。会派の派遣人数は、自民5名、公明1名、立憲1名、民主1名、共産1名、維新1名となっている。米中貿易摩擦、ファーウェイのスマホの排除など、日中間を取り巻く環境も厳しい。そんな時の会議だけに、両国の議員会議でどんな成果が生み出せるのか注目される。

小林正明君を偲ぶ
話題豊富な物知り議員

市会議員小林正明君が去る12月4日深夜、直腸ガンの為なくなった。人生100年時代と言われる今日、70歳は働き盛りであり、早すぎる死である。もとより本人は残念無念であり、こんなことで死んでたまるかという思いであっただろう。友人としても大変惜しい彼の死である。小林君は、KBS放送に勤務し、その後、伊吹文明代議士の秘書となったが、秘書時代の彼とは、接触がなかった。深く交わるようになったのは、彼が平成3年、京都市会議員に当選してからである。私はその4年前、昭和62年に京都市会に出ていた。その時の選挙で、自民党は新人が2人しか当選できなかった。市会改革を目指していた私は、もっと多くの若い人が市会に出てくることを期待していた。平成3年は確か7人の自民党の新人が当選した。その中に小林君もいた。好機到来とばかり、その後、小林君らと、市会議長の2年制、議員団の役員の新旧交代、桝本市長擁立など、先輩議員に怒られながら、若手議員が一緒になって運動を展開した。小林君は議員が当選するために最も大事な後援会活動に余り身を入れなかった。自分の能力を以ってすれば、そうバタバタする必要がないと過信したのか、それが災いして、3期目の大事な選挙で落選、涙を飲んでしまった。浪人中の4年間、次期選挙への準備、子供の教育、生活費の工面などで、随分と苦労をしたのではないかと想像する。その時の、肉体的、精神的、そして経済的苦労が彼の病気の遠因になったかもしれない。彼は非常に個性的な人間であり、マスコミ出身者にありがちな勝気な所があった。それ故に、彼の人物評価について誤解が多かった。彼を評価する人、彼を悪くいう人、相半ばした。人間誰しも仕方がない事であるが、議員の場合、実体以上に厳しい人物評価がされる。小林君は物知り、雑学の士であった。同じ世代の彼とは、共通した話題が多く、話をしていて、面白く、楽しく、話題が尽きることがなく、時間の経つのを忘れてしまうほどだった。京都市会にあって、ユニークな名物議員だったことは確かである。私にとって、馬の合う、本当に得難い友人だった。寂しくて、残念でならない。今は、ただ彼の冥福を祈るばかりである。

参議院議員　**二ノ湯　智**

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会
年会費　1口1万円
入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

政経文化懇談会の御礼

自民党京都府連の政経文化懇談会は去る12月1日に、左京区宝ヶ池の国際会議場で盛大に開催することができました。開催に当たり、皆様方には温かいご協力を賜り、誠に有難うございました。自民党に所属する国会議員はじめ各級議員は皆様方の声に謙虚に耳を傾け、国、地元京都の発展のために誠心誠意努力して参ります。今後とも変わらぬご支援を頂きますようお願い申し上げます。　平成30年12月

参議院議員　**二ノ湯　智**

兵庫県での「ふるさと対話集会」
二ノ湯議員、住民の生の声を聞く

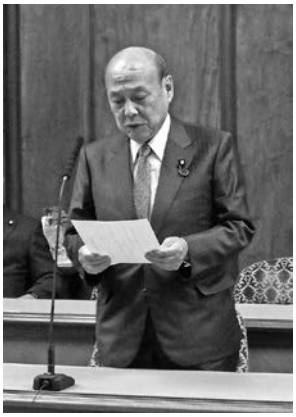
自民党が野党時代、谷垣総裁の提唱で、地方の住民の声を聞き、それを政策にいかして、政権を再び取り戻そうと、衆参国会議員が「ふるさと対話集会」を開催した。それが大いに、効果を発揮して、政権を奪還することが出来た。来年は統一地方選挙と参議院選挙が、12年ぶりに同じ年に執行される。その時の参議院選挙は、過去の例によると、自民党に大変厳しい。そこで、二階幹事長の指示の下、来年3月末までに、衆参議員が最低3回開催する事になった。去る19日、兵庫県の末松信介参議院議員が、赤穂市、相生市、明石市で3回集会を開催、末松氏と親しい二ノ湯議員も参加した。

市内企業家、
障害者若者グループ・赤穂市

「食と農を守るかあちゃんず」
主要メンバー・相生市

二ノ湯議員 委員会で御礼の挨拶
前決算委員長として

平成29年9月28日から、平成30年10月24日まで、参議院決算委員長を務めていた二ノ湯参議院議員は、臨時国会中に開催された決算委員会で、前委員長として、委員会運営に協力をして貰った委員各位に御礼の挨拶をした。二ノ湯議員は引き続き決算委員会に所属する事になった。



決算委員会で挨拶する
二ノ湯前決算委員長

舞鶴市長選挙に多々見氏3選出馬
自民党京都府連推薦決定

12月25日、自民党京都府連は、来年1月27日告示、2月3日に投開票される舞鶴市長選挙に3選を目指す現職の多々見良三(67)氏を推薦候補とすることを決定した。多々見氏は2期8年間、指導力を発揮、舞鶴市の活性化に取り組んで来た。一時健康を害したが、今はすっかり回復、以前よりも健康そうである。舞鶴市は先の市会議員選挙では、保守系議員が圧倒的勝利、多々見市政と二人三脚で更なる発展が期待される。

身辺雑記

一、天皇の即位及び即位礼正殿の儀が行われる日が休日となり、10連休という長い休みが続くことになる。過去に例がない長期休暇だけに、国民生活にどんな影響がでるのか。各方面から心配する声が挙がっている。

一、今年を表す漢字が「災」に決まった。確かに今年は、地震、豪雨、台風と自然の猛威が日本列島を襲った。そのため、日本各地が、大きな災害に見舞われた。国土強靱化を一日も早く進めなければ、取り返しのつかない事になる。

一、地球温暖化の原因はCO_2で、それにより異常気象が起こり、世界各地に大きな被害をもたらしている。温暖化対策を進めるパリ協定が採択された。未来の地球に住む人達の為に、日本も積極的に努力しなければならない。

一、長男の子供が小学校五年生になった。今、野球に熱中している。たまに、孫の相手になり、野球をしてやる。結構上手くなってきている。私は小学生の頃、勉強そこのけで、野球に夢中になっていた。その頃の事を思い出す。

一、皇居前のパレスホテルにお茶を飲みに行った。ラウンジにすぐに入れると思ったら、約30分待たされた。「いつもこれぐらい混んでいるのか」と尋ねると、「毎日、こんな状態です」という返事だった。東京は空恐ろしい所だ。

一、煽り運転を繰り返し、人を死に追いやった男に、横浜地裁で懲役18年の判決が出た。弁護側は無罪を主張したが、裁判官は運転を危険運転と判定、厳しい刑を科した。最近横着な運転が目につく。警告の意味でも当然の判決である。

一、フランスは失業率が高いうえにガソリン税の増税に端を発して暴動が起き、イギリスはEUからの円満な離脱が出来ずメイ首相は四苦八苦し、今尚混乱が続いている。それと比較すると我が国は、多少の不満があっても結構な国である。

新春招福バスツアー
第32回 伊勢神宮初詣
◇旅行日　平成31年1月14日(月・祝)
◇昼食場所　旅荘　海の蝶
◇会費　10,000円
◇申込先　初詣実行委員会(二ノ湯さとし事務所内)　TEL(075)315-2228
または アサカ観光社　TEL(075)821-0650
初詣実行委員会